

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

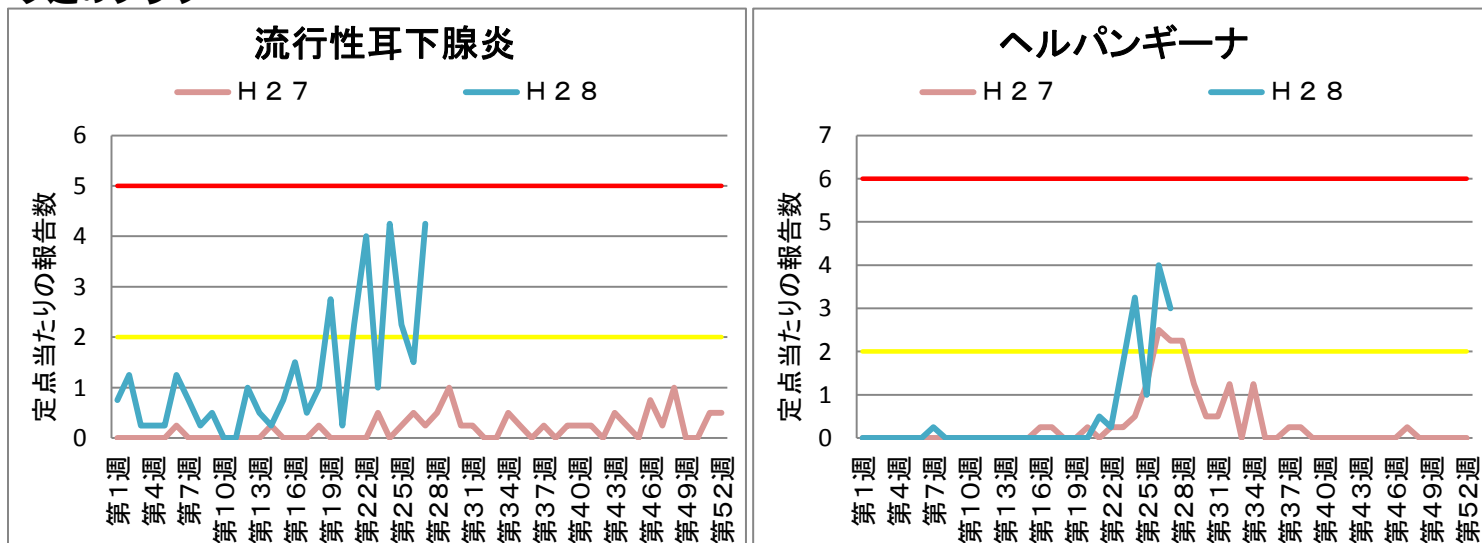
第 27 週 平成28年7月4日 ~ 平成28年7月10日

## 今週のコメント

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告が、再増加しています(定点当たり4.25件)。保育所・幼稚園の欠席者情報収集システムでは今週(7/11~)に入ってから継続してみられており注意が必要です。流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症です。2~3週間の潜伏期を経て発症し、片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱を主症状とします。感染経路は接触感染・飛沫感染ですが、感染しても症状の現れない不顕性感染が30~35%あるといわれています。発症しても通常は1~2週間で軽快する疾患ですが、無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、膵炎などの合併症を起こす場合があります。効果的な予防方法は、ワクチン接種です。

○ヘルパンギーナの報告は、やや減少しました(定点当たり3.0件)。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.43	手足口病	2.75
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	6	ヘルパンギーナ	3
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	4.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

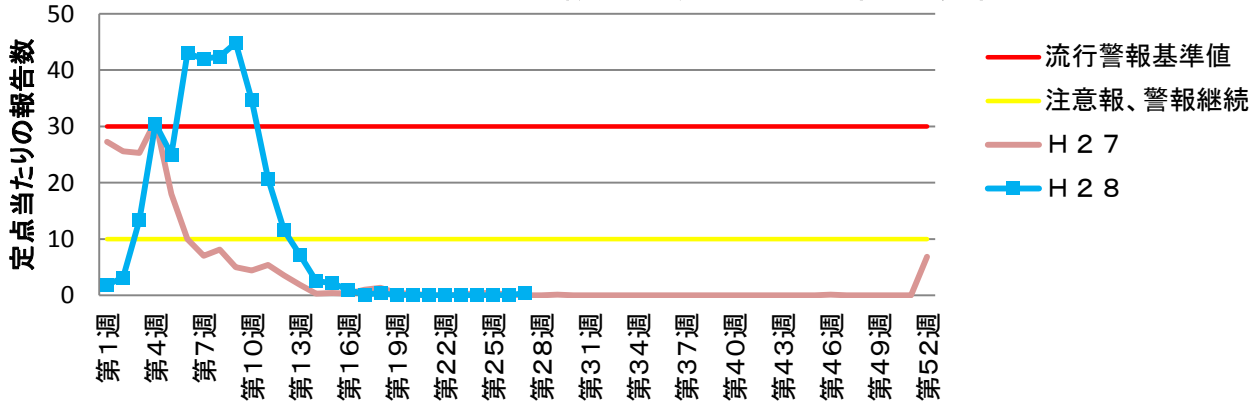
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

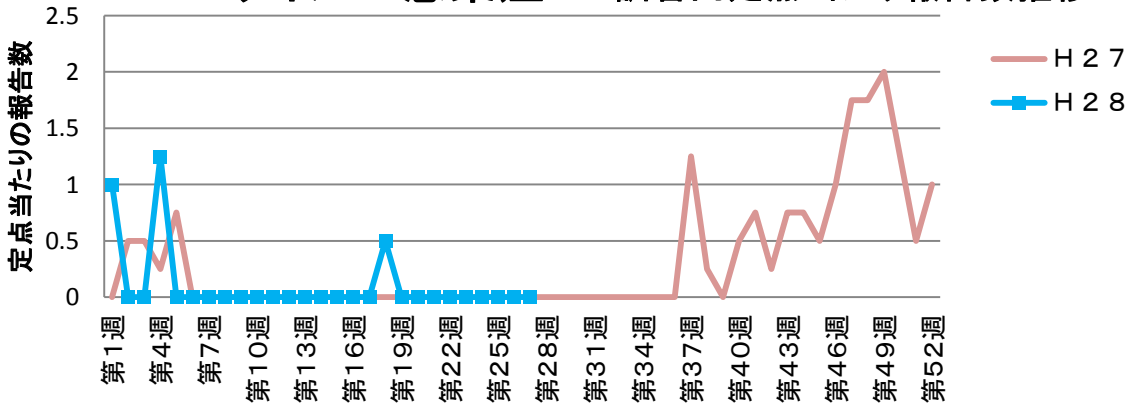
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

## 定点報告による各疾病の推移

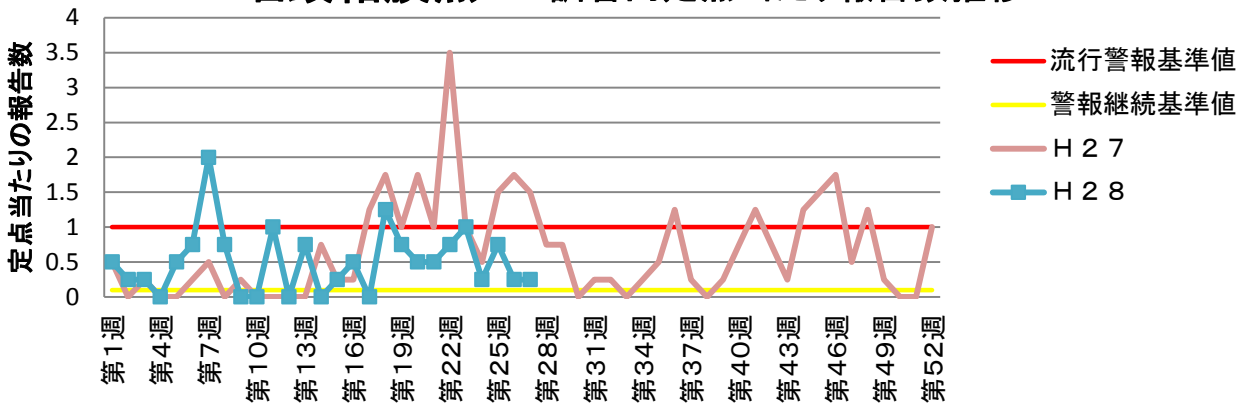
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



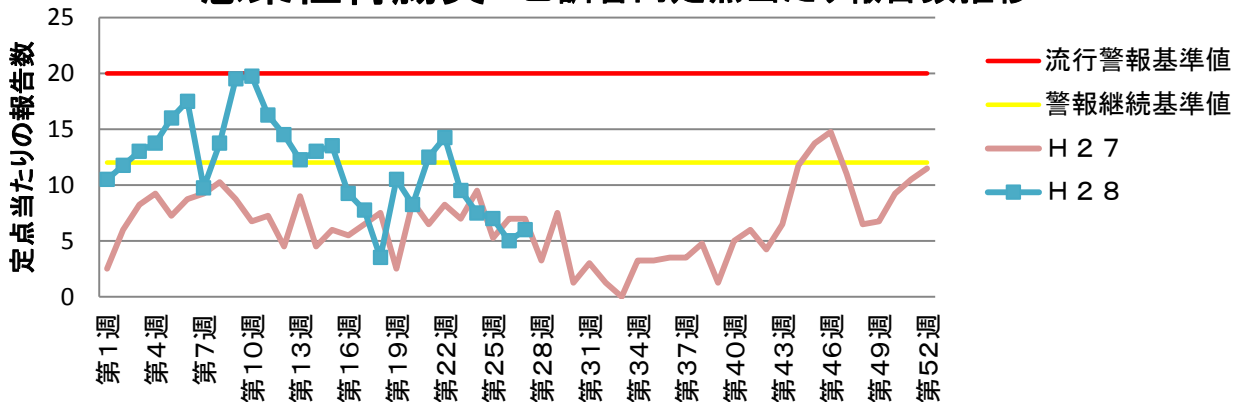
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



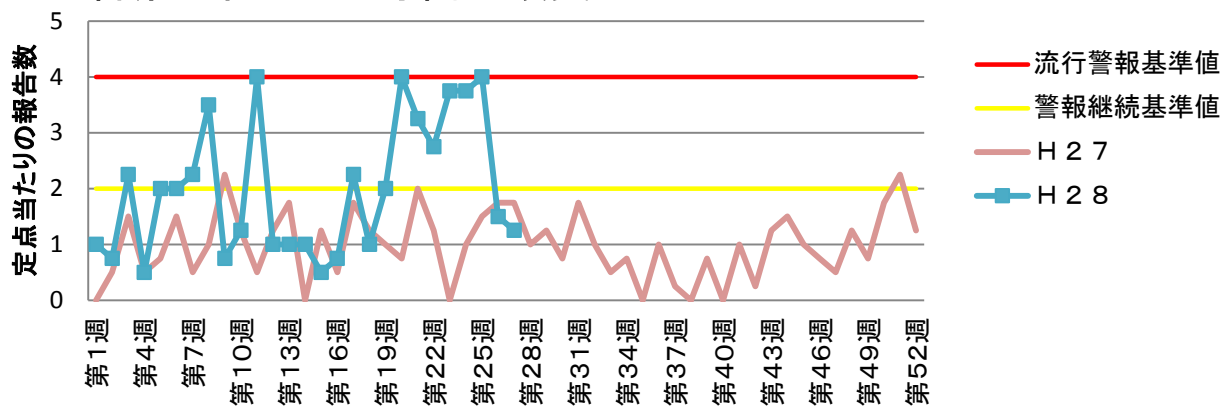
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



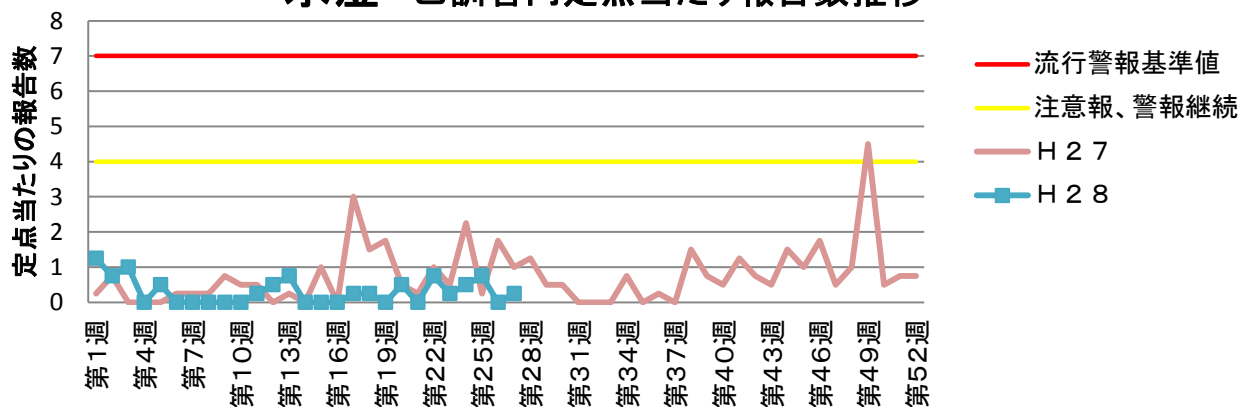
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



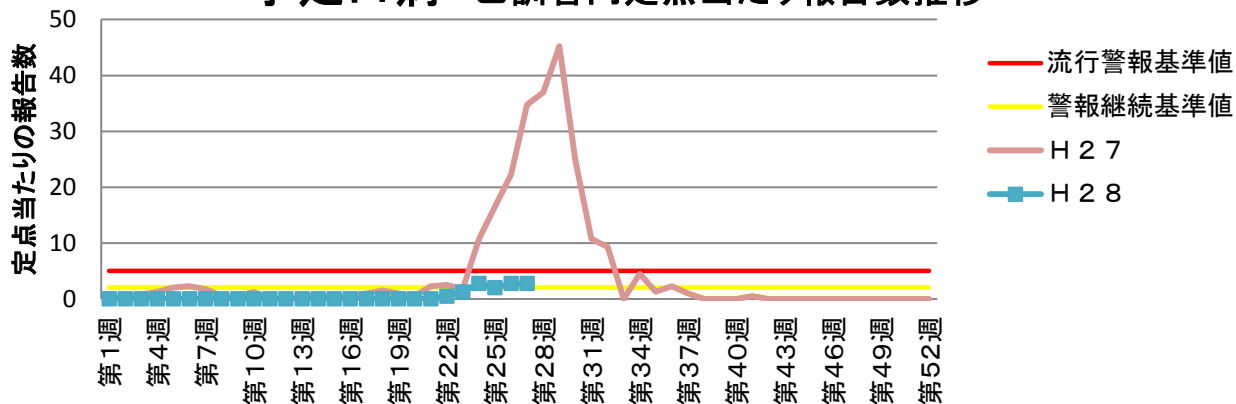
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



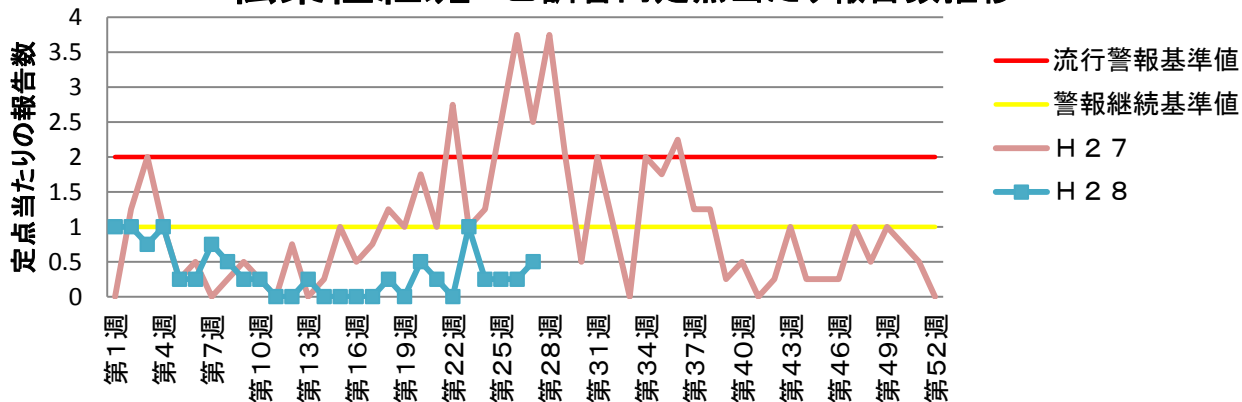
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



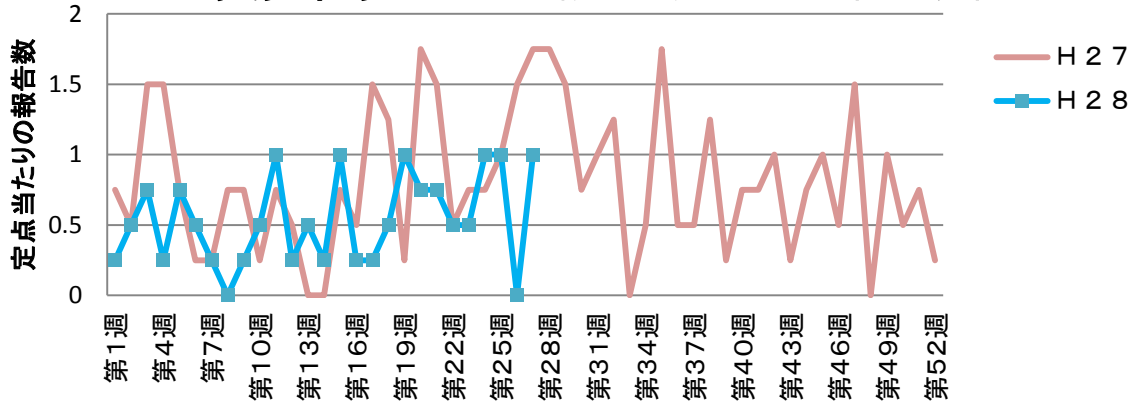
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



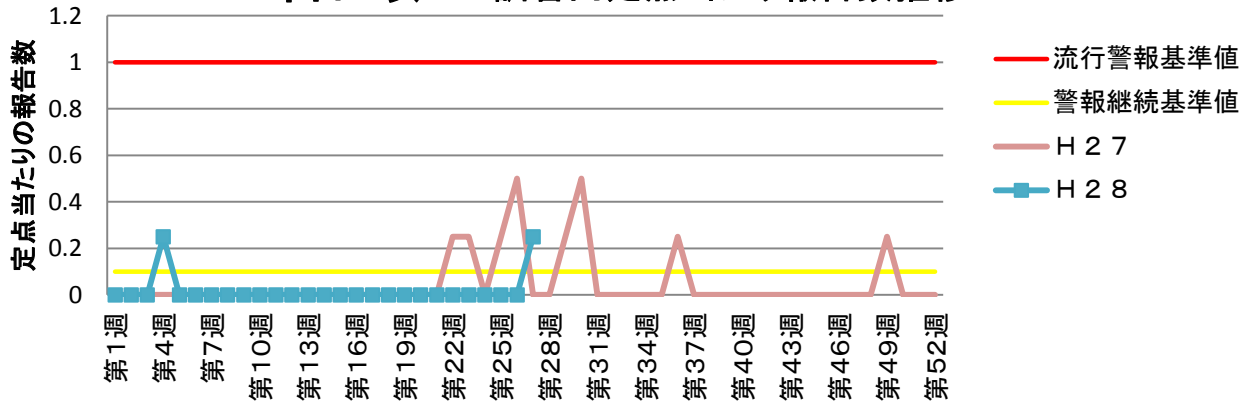
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



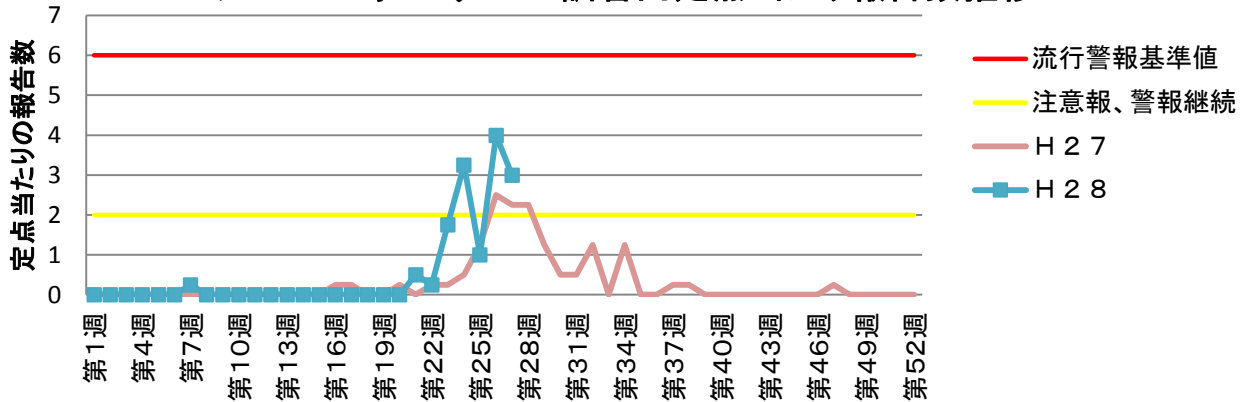
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

